



## 国連世界観光機関 (UNWTO) 駐日事務所

### Sustainable Cruise Development Strategies: Tackling the Challenges in Itinerary Design in South-East Asia

#### Executive summary

東南アジアは世界で最も自然・文化遺産を数多く体験できる地域である。ユネスコ世界遺産の34カ所、35の生物多様性ホットスポットのうち5カ所がこの地域にある。

観光は対象となる地域に経済効果をもたらすと共に、環境や地域社会に負荷を生み出す可能性もある。大規模なグローバルツーリズムの振興を20世紀の大きな成功とすれば、需要をコントロールし負荷を緩和するのが21世紀の課題だと言える。

クルーズ観光は比較的新しい現象であり、大人数を短期間に、観光対象となるスポットが集積した地域に送り込むことになるため、複合的かつ集中的な影響を及ぼすことが特徴である。クルーズ振興において、インフラや旅行商品開発が、環境や文化資源の脆弱性を監視・評価する仕組みの確立よりも先行してしまった場合、貴重な生物多様性を喪失させ、文化遺産を破壊する可能性がある。クルーズ観光開発が送地域と受入地域のマーケットの属性を変化させる規模、影響そしてその意味は、経済開発に際しての地球全体の課題を象徴するものである。

この報告書はクルーズ振興の持続可能な開発についての関心を広げ、地域間協力を進め、最良の実践と変革の戦略的履行を刺激するために、東南アジアの開発におけるこの重大な岐路に際し必要な行動を呼びかけることを目的としている。

持続可能な観光では、観光目的地特有の自然や文化遺産こそが、そのブランド評価や価値を生み出し、観光の需要を左右するものとなる。よって観光地の環境、文化遺産に関する資源を保全しながら長期的な経済成長を保つために産業の成長を管理することは最重要である。

持続可能な観光の条件は次の三つの柱とされている。

- 環境にやさしい実践
- 文化、自然遺産の保全の支援
- 観光地の住民にとっての明確な経済的、社会的恩恵

**World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific**  
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

東南アジアのクルーズ観光振興と持続可能な観光にとって、その限界点を考慮することは重要である。東南アジアでは需要の急激な発展を経験したが、これは主にアジアの送地域が加速度的な成長を遂げ、当初の予測を上回ったことによるものである。クルーズ観光という概念が定着するまで、東南アジアの各目的地では訪問客の動向への対応に苦慮することが想定される。

2014年、東南アジアには1億人近い観光客が訪れた。ASEAN諸国のアウトバウンドは2005年から2013年にかけて98%の成長を記録し、そのうち45%はASEAN諸国間での訪問であった(表5.2参照)。

この東南アジアの急成長のほとんどが中国からの訪問によるもので、2005年以降中国からの訪問客はASEAN諸国総計の来訪数を上回っている(表5.1)。クルーズ観光も同様の傾向が見られ、中国人乗客は2012年から2014年にかけて79%の伸びを示している<sup>1</sup>。

アジア全体のクルーズ観光は大きな成長が期待されており、2013年以降アジア内クルーズで年10.6%の伸び、乗船収容能力20%、入港数34%の増加が予測されている。

2015年、アジアでは26のクルーズブランドがあり、客船52で、アジア内クルーズ数981、乗客数217万人で、うち、東南アジアでの発着数は46%を占めるとみられている<sup>2</sup>。圏内の観光客増加に伴い、受入地では地域に最も利潤をもたらす観光の種類とマーケットセグメントが見極めるようになる。クルーズ観光はどの受入地域にも適するとは限らないからだ。

持続可能なクルーズ観光に最も重要なのは受入地域における政策決定や管理運営者によるアセスメントだといえる。受入地域のバリューチェーンの正しいアセスメントによって管理運営者や政策決定者はクルーズ観光の可能性、想定されるリスクや影響を理解することができる。

アセスメントは政策決定者や管理運営者がクルーズ観光振興の最適な開発のレベルを判断する実証的、統計的、また状況に応じた基準となり、プランニング、政策、条例の策定、モニタリングやフィードバックループの作成や改善に使うことができる。

クルーズ観光の利点を最大化し、負荷を効果的に最小限に止めるために、この報告書では、受入地域の管理者が、クルーズラインに限らず、また即効性的利潤のみならず、あらゆる利害関

<sup>1</sup> Cruise Lines International Association (2015), *State of the Asia Cruise Industry: More Cruise Ships, Passengers, and Ports than ever before* (online), available at: [www.cruising.org](http://www.cruising.org) (27-03-2015).

<sup>2</sup> Cruise Lines International Association (2015), *State of the Asia Cruise Industry: More Cruise Ships, Passengers, and Ports than ever before* (online), available at: [www.cruising.org](http://www.cruising.org) (27-03-2015).

係者を考慮した内省的、また参画的なアセスメントを行なう戦略を示す。以下、持続可能なクルーズ観光振興と東南アジアにおける責任ある観光を推進するための8つの戦略を挙げる。

戦略#1：需要喚起ではなく需要コントロールに注力したアプローチでのクルーズ観光開発



戦略#2：包括的なバリューチェーンと訪問者の「体験」に関連した持続可能な開発の必要性の評価



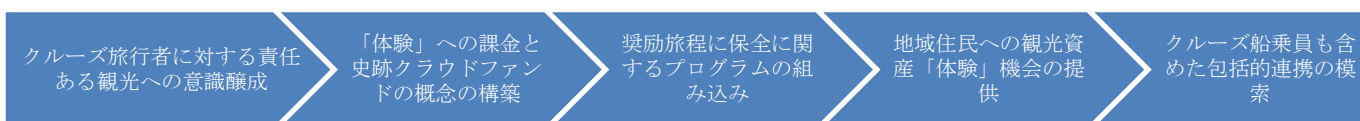
戦略#3：クルーズ観光における自然・文化遺産価値の定量化



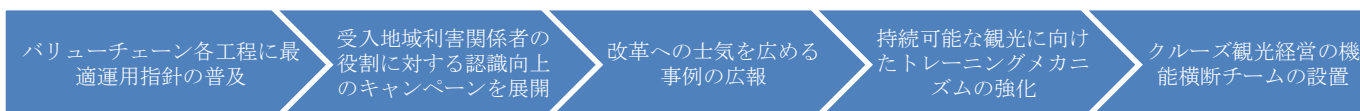
戦略#4：適切な価格設定モデルを利用した観光地の自然・文化遺産価値の最適化



戦略#5：地域のクルーズ観光促進の革新的柱として責任ある観光を確立



戦略#6：持続可能な観光に通じる地域文化の洗練化促進



World Tourism Organization (UNWTO) Regional Support Office for Asia and the Pacific  
- A Specialized Agency of the United Nations

Silkia Nara 2F, Sanjo-honmachi, Nara, 630-8122, Japan Tel: +81(742)30-3880 Fax: +81(742)30-3883 Email: info@unwto-ap.org

戦略#7：持続可能な観光の各要素をデータ収集、モニタリング、実績評価のフローに組み込み



戦略#8：持続可能な観光におけるデータ基軸の地域連携の創出

